

73 鬼餅由来（口）

姉と弟が生まれて、弟が鬼だったらしい。それから鬼ムーチーといって伝えが出たってね。

きょうだいの弟がね、あまりもう一般の邪魔になつて、鬼だから、子どもたちもう食べよつたつて。それでも、これ、考えごとしたでしょう、家族の者は、姉さんなんかは。それで、ムーチーの日にね、餅をいっぱい作つてね、ご馳走の餅持つて、この鬼の来るのを待つておつたつて。そしてね、ホーハイムーチーですよ。ホーハイ、絶壁に餅を作つてよ、また、パンツも脱いでね、この、見せて、女は。このきょうだいに。そしてね、餅も作つて、この饅頭も置いてね、開いておつて、

「あれは何か」と言ったら、

「これは何する餅」。また、

「これは何か」と言ったらね、

「これはね、鬼を食う口」と言つたつて。女。このち

んちんを開けてね。

「これは何か」と言ったらよ、

「これは鬼を食う口」と言つたつて。

そしてね、そういう場合に、姉さんの考えごとで、これは絶壁にね、わざわざ絶壁に行つて、もう殺すつもりだから、姉さんは。それでね、その争いの時にね、あの絶壁でよ、押し落としたつて。そうして、押し落として後から、このムーチーを作つた、このゆがいた熱い湯があるでしょう。これを撒いてね、上がつて来させないように。湯を撒いて死なせたというさ。

それ、今もね、このムーチーの時には、ムーチー作つたらね、作つて後からは、この熱い湯でね、屋敷を清めるわけよ、みんな。一般でも。

「鬼は外、福は内」と言つてね。